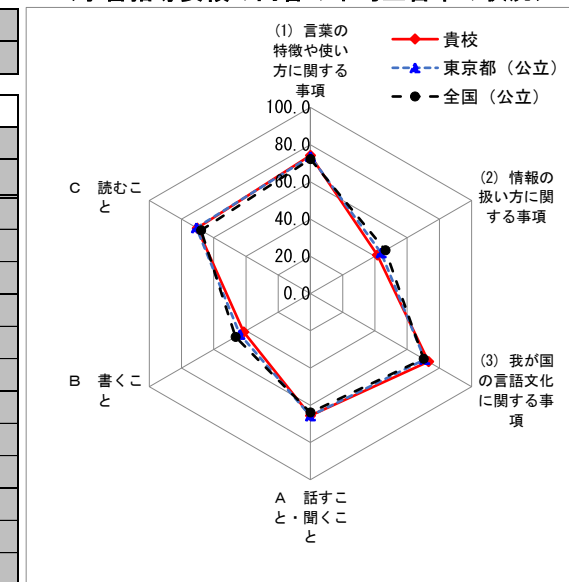


・以下の集計値／グラフは、4月19日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象生徒数		江戸川区立小岩第四中学校	東京都（公立）	全国（公立）		
		128	70,858	891,820		
分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)			
			貴校	東京都（公立）	全国（公立）	
全体			14	70	70	69.0
学習指導 要領の 内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使いに関する事項	6	74.2	73.6	72.2
		(2) 情報の扱いに関する事項	1	41.4	43.8	46.5
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	3	73.2	70.9	70.2
	思考力、判断力、 表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	65.6	65.7	63.9
		B 書くこと	1	41.4	43.8	46.5
		C 読むこと	2	70.3	70.8	67.9
評価の観点	知識・技能	10	70.6	69.8	69.0	
	思考・判断・表現	6	63.2	63.8	62.3	
	主体的に学習に取り組む態度	0				
問題形式	選択式	6	76.4	75.3	73.7	
	短答式	5	70.9	71.2	70.3	
	記述式	3	57.8	58.2	57.4	

<学習指導要領の内容の平均正答率の状況>



結果分析・課題

全国の平均正答率が69%、東京都が70%、本校は70%だった。正答数分布グラフから、全14問中の14問・13問を正解する生徒の数は全国と東京都に比べ、2~3%少ない。しかし平均正答数(約9.8)を超える生徒の%が約5%以上高い。その結果平均正答数以下が少なくなっている。

以下は問題別調査結果から読み取れる本校の課題である。

- ①文脈に即して正しく漢字を書く力。(全国-4.1・東京都-2.1)
- ②聞き手の興味関心を考慮して表現を工夫する力。(全国+1.3・東京都-2.7)
- ③自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く力。(全国-5.1・東京都-2.4)

授業改善のポイント

平均正答率を向上させるために、正答率の芳しくない層の向上を目指す。グループによる学び合いの授業形態を継続し、一人一人が授業で主体的に学べるように、教え合う関係作りに力を入れていきたい。

- ①漢字力を育むために適切なテキストを購入し取り組ませる。週に1回など定期的に小テストを行う。その結果を書き込めるプリントを用意し、自分の取り組みを反省できるようにする。漢字検定の取得を促したり、その練習問題に取り組ませたりし、学習意欲を高める。
- ②表現を工夫する力はスピーチや俳句、短歌作り、ビブリオバトルで聞く人の興味関心を引き付ける力を養う。
- ③書く力は教科書の内容で自分の考えを書かせる場面を設ける。他の生徒と意見交換し、自分の考えを深めさせる。単元の終わりにはテーマを決めて自分の考えを、読み手に適切に伝わるように書かせる。